

当院は下記の調査を実施しています

記

課題名

小児におけるリツキシマブ髄腔内/脳室内注射実施例の調査研究

調査の目的・意義

抗 CD20 抗体リツキシマブは小児の成熟 B 細胞性リンパ腫に対して有効ですが、中枢神経系に移行しないことが知られています。解決策としてリツキシマブを直接、髄腔内に注射する方法がありますが、本邦からの報告は限られています。そこで、本研究では日本人小児に対するリツキシマブの髄腔内/脳室内注射の安全性、有効性情報を収集することを目的として調査研究を行います。

本調査により今後の小児成熟 B 細胞性リンパ腫の再発・難治例に対する治療計画作成における重要な情報が得られることが期待されます。

調査の方法

リツキシマブ髄腔内/脳室内注射の実施経験のある施設の患者さんの臨床情報について調査研究を行います。実施経験のある下記施設に対して、調査票を送付し対象の患者さんの臨床情報について回答をしてもらいます。

(実施施設：横浜市立大学、東京医科歯科大学、日本大学、順天堂大学、佐賀大学、大阪市立総合医療センター、国立名古屋医療センター、静岡県立こども病院、金沢大学)

➤ 調査項目

患者さんの性別、年齢、受けた全身治療、リツキシマブの髄腔内/脳室内注射の詳細と治療効果、予後

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

調査実施機関

国立成育医療研究センター（HPにて概要を掲載 <http://www.ncchd.go.jp/>）

横浜市立大学、東京医科歯科大学、日本大学、順天堂大学、佐賀大学、大阪市立総合医療センター、国立名古屋医療センター、静岡県立こども病院、金沢大学

※ 調査へのご質問については、お手数ですが、下記の調査責任者へご連絡ください。

調査責任者： 大隅 朋生

TEL : 03-3416-0181 (内線 7092)